

甲佐町オレンジ通信

令和 6 年 7 月 甲佐町地域包括支援センター

第 2 号(通巻第 92 号)

小学校唱歌「夏はきぬ」を
おばちゃんたちと歌ってみよう！



昔、おじいちゃん、おばあちゃんたちが小学生だった頃、小学校では、春は「^{おぼろづきよ}朧月夜」、初夏は「夏はきぬ」を歌ったと言います。

「朧月夜」は、「菜の花畑」で始まり、「夏はきぬ」は、「^う卵の^{はな}花の匂う垣根にホトギス」と続きます。コロナ禍で、訪問が難しかった高齢者施設でも、少しずつ面会の仕方を工夫しながら、家族とも会えるようになってきました。

お盆になれば、甲佐町のお盆の時期に合わせて故郷に帰ってくる家族もいると思います。

家族や親戚のみんなと先祖に手を合わせ、ご先祖様に会いたいものです。

そんな時に、小さな子どもたちが、高齢者が好きな歌を歌ってくれと、本当におじいちゃん、おばあちゃん、嬉しいでしょうね。

「夏はきぬ」は、本当は初夏の歌ですが、歌の中身が、甲佐町の田園風景にぴったりなのです。

卯の花は、河原や山道でも見かけましたし、田んぼの風景や小鳥の声、ほたる、まさしく登場する風景が、甲佐町の里の風景なのです。

今年の夏はぜひ、甲佐町の風景を思い出しながら、この歌を歌ってみませんか？きっと、つられて、いつもは話せないおじいちゃんおばあちゃんも、口を動かしてくれるのではないのでしょうか？

若い人で、知らない方はぜひ、ユーチューブなどで、見てくださいね。



甲佐町地域包括支援センターでは、6月から月に1回、全10回にわたって認知症に関する情報「甲佐町オレンジ通信」を発行します。



お問い合わせ先
甲佐町地域包括支援センター
(甲佐町役場 福祉課)
TEL 234-1114